

三、
 網領高 聖代 若き 茂し 八重 其名 浜松 光榮 あり 郷土
 伸び 健児 八百 汝が 名 浜商
 び ゆく 緑 芽 若 松 我 等



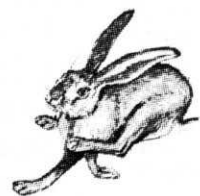
一、
 朝日 直刺 富士の 秀峰
 夕陽 かも よう 浜名 淡海
 曳く や 霞の 曳馬の 野辺に
 緑 芽 伸び ゆく 若 松 我 等
 神 君 薬 雄 伏 城 趾
 国 学 の 粹 高 詔 翁

若松我等

題字は初代監督 松島正吉先生

陸上部後援会誌

S 62.4 Vol. 3-1



限りなき前進

● 学校長 太田正巳先生



「若松我等」の誌上を通し、謹んでご挨拶を申し上げます。
 後援会の皆様には、日頃本校陸上部の発展のために温かきご支援・ご協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。次第でございます。

伝統ある本校陸上部は、顧問の山下・中園両先生の適切な指導のもと、先輩の築かれた偉業を継承すべく、昨年度も各種大会に最善を尽くし、陸上王国浜商の名声を高からしめたことは周知のとおりであります。

今年もまた昨年の反省の上にたち、総ての大会に日々精進の成果を十分に発揮することを誓う次第でございます。

また間もなく本県は、高校総体（66年）の開催県を迎えようとしています。その重責を担う本校に対する期待に応えるべく、学校といたしましても今からその対応に励んで参りたいと考えております。

終わりにあたり、後援会の皆様の相変わりませぬご指導とご鞭撻のほどをお願い申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。

* * *

運命は我等を幸福にも不幸にもしない。
 ただ、その材料と種子とを我等に提供する
 だけである。 (モンテーニュ)

● 現陸上部監督 山下昌彦先生



緑芽吹く大変良い季節となりました。卒業生の皆様にはいかがお過しでしょうか！母校陸上競技部の現役も今年の札幌インターハイに向けての練習に余念がないといったところ

です。昨年の失敗を徹として今年は余裕力を持って臨み限りない前進をしたいと思ひます。主将青木忠の110m Hは14秒前半を、大石・小田木・木下・大橋の1,600m Rは3分14秒の高校記録を塗り変えたいと思ひます。この2種目については何んとしても優勝を狙つてゆきたいと思ひます。

これに続く種目を挙げると小田木・大石の400mは48秒を切つて2人共決勝に残れる力があると思うし、5,000mの杉山も着実に力をつけてきているので14分42秒の県高校記録を破つて入賞をめざせたい。鈴木省の棒高跳は昨年と比較したら一段と遅くなったので4m71の自己記録を大巾に破つて5m台に突入してくれるだろう。重田のハンマー投はや、フィニッシュに難があるが全体的な馬力がついた。58m台をコンスタントに投げられるようになれば本番では60mの大台に乗り楽しみである。又、以上の他にも新人一年生を中心とした400m Rも41秒台が望めるチームである。10秒7の杉村・10秒9の加藤を軸にインターハイまでには上位入賞が狙えるまでのチームに育てあげたいと思ひます。本番での結果の良悪はこれからの一ヶ月の練習の仕方にあると思ひます。今年には持てる力をフルに出し切ることを目標に頑張りたいと思ひます。後援会・父母の会の皆様の御支援の程をよろしくお願い申し上げます。

61年度を振り返って

太田後援会長

昨年度は会員の皆様方には大変御協力をいただき、満足できる後援会活動を行う事が出来ました事を心から御礼申し上げます。

全国総体、全国駅伝には物心両面で御協力を頂きまして、当初の目標を達成することが出来感謝申し上げます。61年度一年間を振り返ってみますと、陸上部員総勢115名をかかえてスタートした大所帯でしたが、誰一人落ご者もなく競技生活を全う出来ました事は、ひとえに教育者としての山下監督のご指導のお蔭です。改めて感謝すると同時に敬服する次第です。

又、昨年は山下監督が浜商を転出するのではないかとの情報が県下の中学校に流れ、有望な中学生選手が離散する心配が見受けましたが、斉藤県知事のお声がかかり、浜商の山下監督は66年総体の静岡大会までは浜商で頑張ってもらい、是非静岡県に優勝校を作ってほしいとの要請が県陸協にあり、この転出の件は無事着落しました事を後援会、父母の会、共に喜びあっている処です。

山口インターハイに向かって西部大会が市営競技場で5月早々に幕開けしましたが、浜商生はこの大会の各種目にエントリーするために校内予選会が行われました。一種目に3名だけが出場権を得ることが出来、熾烈な戦いがくり広げられた訳ですが、さすがに上位3名は強く、西部大会においては浜商運動会と思われるような全種目に上位入賞者が続出しました。総合得点においても過半数を取得し競技部始まって以来過去最高の成績を残しました。

又、五月末日に草薙で行われた県大会においても、やはり西部大会目標総合得点では過半数の得点を取得し連続優勝記録を更新いたしました。

東海大会においては、昨年は同点2位と(優勝者人数で)惜敗しましたが、昨年大会には余裕をもって優勝する事ができました。このような戦績を残して山口インタハイには総合をねらう事が出来るものと確信して望んだ訳です。

総勢20名が酷暑の戦いと、全国大会特有の異様な雰囲気選手自身十二分な実力を出し切った者、常日頃の実力が

出なかった者など様々でした。特に傑出した選手は走高跳の村田君で、昨年の坂田選手に引き続き浜商二連覇が出来るか心配しましたが、堂々と2m16を跳び悲願を達成する事が出来ました。結果は総合5位、フィールドの部優勝という事ですが、高いレベルを望む浜商の後援会の皆様方にあまり喜んでもらえなかった様な気がしました。本年度は必ずや札幌で、3度目の総合優勝をする事が出来ると思います。

三年連続全国駅伝大会出場をかけて、本年度は榛原高校をスタート、起伏のある山坂、田んぼ道を折り返し42.195kmを競う大変のどかな田舎町で行われました。前評判通り一区の佐藤聡君が断然トップ、以下二区以後ますます差を広げ楽勝でテープを切る事が出来ました。優勝の喜びもつかの間に、全国駅伝上位入賞をめざし京の都大路を数度となく試走を重ね万全の体勢で大会に望んだ訳ですが、新一年生が多く、持てる力が発揮出来ず、出足は素晴らしいスタートをきって大変期待がもてたのですが、後半逃げ切り型の作戦は経験のうすい新一年生には酷のようでした。この体験を生かして今年こそはと念じているのは私達ばかりではありません。

静岡県知事を筆頭に、教育関係者、陸上関係者、浜商OB等は、浜商陸上部山下監督に有望中学生を送りこんでくると予想されます。後援会といたしましても期待を裏切ることのない様に授かった子供達を、物心両面で援護助成していく所存です。どうか皆様方にはより一層の御協力をお願いいたします。

S61 インターハイ結果 (山口県)

4人×400mR	木下、小田木、森下、大石	3分20秒93	予選3位落
走高跳	村田雅之	2m15	大会新優勝
棒高跳	鈴木伸吾	4m80	準優勝
三段跳	辻村直彦	14m99	5位
〃	加藤信之	14m75	8位
110mH	青木 忠	15秒73	予選5位落
5,000m	佐藤 聡	14分58秒3	予選14位落
総合の部		14点	5位
フィールドの部		14点	優勝

Flower Shop フラワーショップ スズキ
SUZUKI

浜松市住吉二丁目32-9(聖隷病院西) 鈴木久仁英(高15回)
☎ <0534> 74-5566(代)



うなぎ販売

(株) 相兼商店

代表取締役 相 曾 保 二

静岡県浜松市馬郡町2348 (JR東海舞阪駅北)

☎ 舞阪<05359>2-0136(代表)



今回は当時の練習の状況について、思い出すままに申し述べてご参考にご供したいと存じます。ご存知のように、陸上競技というスポーツは大変空間(場所)を要するスポーツです。前号で述べましたように、校内には一応トラックを造成したものの、全員全種目が一堂に集合して練習するということはなかなか困難でした。

従いまして種目別グループ毎に学校、市営グランド、西寮グランド、一般道路(冬季)というように分散して練習いたしました。主として四ツ池の市営Gを使用致しました。従って午後3時半ごろ授業が終了すると自転車に乗って練習用具と靴を持って毎日通ったものでした。長いポールや重いハンマー等のかついだり吊り下げたりして、当時とはいえよく事故が無かったものだと感心いたしております。

練習内容は各グループ毎のスケジュールに従い、リーダーのリードによって自主的に時間を上手に利用しておったと思います。時には私も所用で監督できなかったこともありましたが、在不在にかんにかかわらず自主的に練習しておったようでした。磐田南の伊藤菊造先生はその様子を見て大変敬意を払ってくれました。

それではそれらの中から特殊なものについて2, 3……
○遠足の代りに磐田南と合同練習 一つの頃かはっきりとは覚えておられないけれども、初期の頃効率のよい練習方法を修得するために、春の遠足の代りに磐田南高校と合同練習を行ったことがありました。厳粛な学校行事の代りに部活を行うのであるから……、伊藤校長先生の英断には今だに感謝申し上げます。当時すでに全国の名門校にのしかがっていた、同校のゆったりと整備された400mトラックのグランドでじっくり練習に時間を費やした思い出が今だに鮮やかに残っております。

○春夏の合宿練習、体力づくりの冬季練習

春 3月下旬、正福寺、冬季練習とシーズンの切り替え
夏(I) 7月下旬、正福寺、市営グランド管理室

インターハイ出場者、大会前の調整

夏(II) 8月下旬、正福寺、新メンバーの確立

冬 通い、明大、文理大(現筑波大)よりコーチを招いて、体力づくりの冬季練習。

例えば1週間でも、寝食を共にして生活するということは非常に大きな感激を味うものであり、チームワークも湧くものである。特に現世と隔絶されたように閑静な正福寺での自炊生活と、和尚ご夫妻の素朴な親切とお人柄、内山グランド管理人ご夫妻の心暖まるご配慮、そして代々のマネージャー諸君の献身的な奉仕活動等、この合宿には望外の喜びが今も脳裡に深く刻みこまれていることである。

○磐田南高との定期戦

陸上競技では練習試合は多く持てない。けれども丁度よい相手が近くにあるので、高校陸上の早慶戦とでもいう気持でこの行事を持ったのである。その結果は常の練習では味わえない緊張感を味わえること、正確な記録が正規の方法で測れること、思いがけない記録が飛び出ること等の収穫が得られるものである。鈴木康彦君が後に三段跳で大殊勲を建てるのであるが、きっかけはこの練習試合であった。

○大昭和製紙との練習試合

大昭和との練習試合はまた違った意味の意義があった。当時すでに社会人競技会を制覇して第一線に立っておった同社には、日本を代表する一線級選手が数多く在籍しておいて対抗の意味はさておき、一線級の選手に体当たりでぶつかっていくというダイレクトの壮快感が味わえた。

当時よく富士からわざわざ浜松まで多数の選手が来て下さったのだと、今だに感謝の念に絶えない。

○市内大会の創設

草創期の頃、毎日単純な練習ばかりではそろそろ飽いてくだろうから、何かよい刺激はないだろうかと思案の末、他の市内6校に話をかけてその参同を得て浜松市内高校陸上大会を創設することにした。ルールは全てインターハイ通りということにした。これは現在も継続されて年中行事化されているのである。確か昭和24年の秋のことかと思いますが、内容は幼稚なものでポール等は2m台の記録だったと思います。それでもチーム優勝ということはとても大きなはずみとなって、この後順調に優勝街道を突進した。

陸上の指導者の中には個人優勝を狙ってチーム優勝には余り関心を持たない人もいるけれども、私は高校スポーツはチーム優勝こそ最上のものと思って指導して参りました。

○修学旅行を返上して

修学旅行といえば高校生活の華である。その修学旅行への参加を返上して練習に励み、インターハイ出場こそ最高の目標として精進した人達もあり感激したものでした。

○その他といたしましては、ある日突然梅村中京学園学長先生ご夫妻(奥さんはロスオリンピック日本代表)の視察を受けたり、その中京商高(現中京高校)からの合同練習を受け入れたことが思い出されます。



クラブ便り——●会長 川島 忠 ゴルフ愛好会(怒濤会)

会員の皆様には益々御壮健の事と存じ上げます。お陰様にて「怒濤会」も発足以来4年目を迎え、春、秋、2回の親睦会も友情と連帯の輪も拡大し、現在会員数41名の構成と相成って参りました。此れも会員諸兄の深い御理解と御協力、御支援の賜と感謝致して居る次第です。

扱、62年度(第6回)春季親睦ゴルフコンペが御案内の通り4月5日(日曜日)に、豊岡国際カントリー倶楽部に開催されました。会員多数の御出席を頂き、春の一日を青空の下で十分に満喫しました。

又、恒例による競技会終了後の懇親会にては、各業界の情報交換、学生時代の想い出話、母校陸上競技部後援会活動、等々、話題豊富に歓談しました。

尚、「怒濤会」の運営、又、新会員入会の広報等に、多々不手際が生じて居ると存じますが御容赦を戴き、「若松我等」会報紙を通じて、多数の方々のお参加をお待ち致して居ります。

「怒濤会」第2期役員構成を下記の通り御報告申し上げます。

顧問	松島 正吉(先生)	岡村 隆(先生)
	山下 昌彦(先生)	
会長	川島 忠(3回卒)	
副会長	大鷹 壮亮(6回卒)	鈴木 章介(7回卒)
	太田 稔(14回卒)	
運営委員長	鈴木 修三(7回卒)	
運営委員	相曾昌司(8回卒)	吉川泰嘉(9回卒)
	杉田 勉(9回卒)	伊奈誠治(11回卒)
	鈴木久仁英(15回卒)	
会計	森 幸男(16回卒)	
会計監査	鈴木 基司(9回卒)	
事務局長	長屋 勝美(7回卒)	



おやじを囲む会も昨年1月に恩師松島正吉先生をお迎えしてグランドホテル浜松で盛大に行われました。そして、親睦と友愛の輪の中で楽しい一時を過ごしました。第2回の囲む会も、いよいよ8月15日(土)1時よりグランドホテル浜松で開きますので多数参加して席を暖め合ひましょう。

62年度浜商陸上部 卒業生・父母の会懇親会を顧みて 第8回卒 中村正美



先般開催致しました卒業生、父母の会懇親会につきまして、まずもって卒業生、父母の会の皆様の御協力に対し幹事学年と致しまして心より厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、盛大なうちにも無事終了する事が出来ました。これも一重に皆々様の御協力によるものと深く感謝致す次第です。

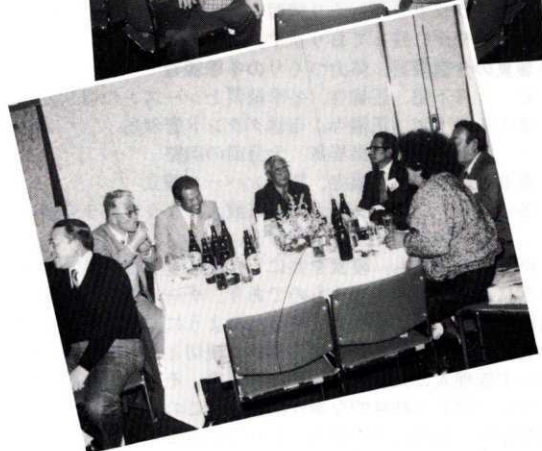
当初出足が遅くなった為に会長をはじめ本部役員の方々に大変御心配を掛け、この紙面をお借りしお詫び申し上げます。準備に入る前にも何度か皆んなで楽しい、よりよい会にすべく話し合いをして来ましたが、日時のたつのは早いもので、気がついた時はすぐ間近に開催日が迫っておりあわてて全員集合、そして準備に取り掛かりました。当初の出席希望者は非常に少く50名を下廻っているような次第で大変心配致しましたが、父母の会会長さんをはじめ、各学年の理事さんの協力で祝日の為仕事の方が多いい中で70名強

という多数の方の御出席を得る事が出来、ほんとうに安心致しました。又、校長先生、松島先生をはじめ来賓の皆様もお忙しい中、全員御出席下さいましてほんとうに有難く私達も心から喜んでる次第です。

全卒業生の数から云えば、やはり200名以上の出席が欲しいと思いますし、その為にも祝日をさけた方がよいと思います。本年も祝日の為仕事で欠席された方が多々ございました。次回はぜひ多数の卒業生が出席出来る良い企画と日時の設定を次回幹事学年に期待すると共に、皆様全員の協力をぜひお願い致し、立派な会に発展する事を願ってやみません。

本年の御協力を改めて感謝申し上げ、第8回卒幹事学年全員の気持ちと致します。

どうもありがとうございました。



内装工事・量産襖工事
有限会社 **岩井昭和堂**
第17回卒 **岩井澄雄**

〒433 浜松市小豆餅1丁目2番8号
電話 <0534> 72-1293代
FAX <0534> 72-1296

浜松市笠井町1346番地 ☎34-1235

スズコマ株式会社

代表取締役 **鈴木修三** (高7回)

期待の星・1987



110米H 青木 忠(3年) 主将

日増しに暖くなり、IHに向けてますます練習に力が入る毎日です。今春から力強い新入生も加わり、インターハイでは“浜商ハードラー”を名実ともにまざまざと見せつけ、歴代の先輩方にも劣らない活躍をし“浜商陸上部”に貢献できるよう頑張りたいと思います。

(投擲ブロック長) 袴田 直樹(副主将)

今年の全国インターハイは北海道ということもあり、できるかぎり多くの部員が行けるようにしたい。自分の砲丸投・円盤投は勿論のこと重田君のハンマー投にはぜひ上位入賞を果してもらいたいものだ。安達君の円盤投も今一步のところであるし、鈴木直樹君のやり投げも持てる力を発揮すれば好成績が望めると思う。手嶋君のハンマー投にもこれからの練習に踏んばりをみせて記録をのばし東海大会を抜いてほしいものです。

4人×400mR 大橋・小田木・木下・大石(共に3年)

3年間の目標であるマイルリレーの全国優勝も最後のチャンスになってしまった。今年の冬期練習は病気もケガもなく頑張れたので相当力がついたと思う。リレーだけでなく400mのフラットレースにも決勝に残れるぐらいの余裕をもちたいものです。今年のマイルリレーの記録は全国高校新記録を狙います。有望な新入生が入部してきたが自分達の記録を破ることができないほどの記録を出したいと思ひます。

(短距離ブロック長) 小山 学(3年)

今年の新入生はどれくらい奴が入部した。全国の覇者が2人である。100m10秒7・200m21秒84(中学新)の杉村文孝君と400m49秒07でジュニアオリンピックで日本一になった加藤晴康君である。この2人を中心にするのは悔しいが4×100mRは全国でも戦えるチームになると思う。まずは41秒台がでるよう頑張りたい。

(中長距離ブロック長) 杉山 哲康(3年)

最終的な目標はあくまでも全国高校駅伝4年連続出場と全国での入賞である。そのためには3人の3年生は悪くても全国インターハイまで駒を進めなくてははいけない。また2年生の部員も、下から押しあげてきてほしいものだ。

(跳躍ブロック長) 山下 修(3年) 石原雄三郎(3年)

伝統ある浜商の跳躍ブロック、その伝統を私達でとぎれないよう頑張りたいと思います。走幅跳・三段跳共に今一步のところにありたいと思います。棒高跳については全国的なレベルにあるが県・東海に強敵がずらりいる。油断もスキもあったものではない。確実な技を身につけて安定した跳躍ができれば入賞も固いだろう。

- ⑦ 辻村昌利 (神久呂中) 400m 51秒7
- ⑧ 清水直也 (丸塚中) 800m 2分02秒8
- ⑨ 小林正樹 (丸塚中) 800m 2分03秒4
- ⑩ 伊藤健太郎 (福田中) 野球、長距離
- ⑪ 市川博啓 (函南中) 110mH 14秒46、走幅跳 6m60
- ⑫ 石塚俊夫 (湖東中) 走高跳 1m75
- ⑬ 池野谷力 (中部中) 3,000m 9分09秒9
- ⑭ 遠藤真一郎 (曳馬中) 砲丸投 16m03
- ⑮ 宮本雅弘 (庄内中) 砲丸投 15m45
- ⑯ 柴田育己 (開成中) 800m 2分19秒3
- ⑰ 藤野利香 (中部中) 3,000m 10分30秒3
- ⑱ 牧 悦代 (雄踏中) 三種競技A 2,608点
- ⑲ 鈴木美帆 (湖東中) 走幅跳 5m03



鈴木修三(旧姓・足立)・第7回卒

S11年7月7日生

出生地 浜北市平口新田

10人兄弟の3男として順調に成長する

現住所 浜松市笠井町1346番地

浜商時代には400mを得意とする。最高タイムは400m52秒08、東海四県大会には第三位となって、晴れのインターハイに出場する。

浜商卒業後、市内の志田織物㈱に入社する。昭和35年迄勤める。そして、その年に念願の独立をする。㈱スズコマを設立して自ら代表取締役社長になる。職種は先染織物製造販売業で、これをもって社会に貢献している。業者間の信頼も厚く、持前の真面目さが受けていて商売も順調に推移している。モットーは常に誠実であること、それは「人生は永遠のマラソンである」カラオケを歌う時には人柄がにじみ出る。「俺はお前に弱いんだ」など持歌も豊富、浜商陸上部の活躍が一番うれしいと…後援会活動にも積極的で、頼れる好人物です。

松島初代監督に可愛いがられ、今又、経済界で多くの人達に信頼されて、「修ちゃん」は益々発展していくでしょう。現陸上部(山下監督)の良き理解者であることには間違いないだろう。

新入生紹介

- ① 杉村文孝 (三島北上中) 100m 10秒7, 200m 21秒8
- ② 加藤晴康 (雄踏中) 100m 10秒9, 200m 22秒3
400m 49秒07
- ③ 鈴木秀典 (城山中) 100m 11秒3
- ④ 大山 真 (東陽中) 200m 22秒9, 400m 50秒3
- ⑤ 染葉秀一 (中部中) 400m 50秒7, 800m 2分03秒3
- ⑥ 齊藤真志 (豊田南中) 400m 51秒7

告知板

原稿募集

①発刊以来皆様より色々とお便りをいただき誠にありがとうございます。皆様方のふれあいの場としてご利用下さい。お気付の点、皆様の近況等ご連絡下さい。お待ちしております。

②住所変更された場合にはご連絡下さい。
大分郵便物が宛先不明で戻って来ている。

●昭和61年度陸上部卒業生進路先

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ①内藤 尚武(投) 静岡県モーターボート競走会 | ⑬鈴木 偉也(長) 伊和富農協 |
| ②岸谷 勉(短) 株中業 | ⑭高木 一弘(短) 大東文化大 |
| ③青島 克義(短) おしゃれの店カミヤ | ⑮柳瀬 寿光(長) 大阪体育大 |
| ④井ノ口正博(長) 拓殖大 | ⑯村田 雅之(跳) 東海大学 |
| ⑤加藤 信之(跳) 中京大 | ⑰山川 久徳(短) 大正大学 |
| ⑥瀬崎 佳久(長) 税務大学 | ⑱浅野 文浩(短) 浪人 |
| ⑦山口 欽也(長) 東京会計専門学校 | ⑲河合 健児(跳) 独協大学 |
| ⑧佐々木祐和(短) 静岡県西部理容・美容高等専門学校 | ⑳酒井 範明(投) 中京大 |
| | ㉑鈴木 伸吾(短) 中央大 |
| ⑨坂田 敏彦(跳) 浜松市庄内農協 | ㉒中村 守(短) 中部大学 |
| ⑩辻村 直彦(跳) 東洋大 | ㉓森下 淳(短) 大阪体育大学 |
| ⑪村松 康亘(短) 大原簿記専門学校 | ㉔谷高 匡司(跳) 名鉄浜松ホテル |
| ⑫山本 聡広(短) 日本情報技術専門学校 | ㉕稲垣かおり(跳) 和光証券 |
| ⑬西岡 晋(短) 日本情報技術専門学校 | ㉖山内幸子(マネ) 遠州病院 |
| ⑭野中 卓美(跳) 機大崎部品 | ㉗坪井 直美(長) 機ミック |
| ⑮安達 信一(長) 静岡トヨベツ | ㉘野口 真弓(投) 日本ヘルス&スポーツ学院 |
| ⑯大川 敬(跳) 東邦大学 | ㉙石川由起子(マネ) 久留米信愛女学院短期大学 |
| ⑰佐藤 聡(長) 拓殖大 | |

特別寄稿

私と陸上競技

(第7回) 鈴木 章介

私、現在50才になりますが、陸上競技との結びつきがなければ現在の私があつたか?疑問視される所でございます。性格的には負けず嫌い、怒りやすく、涙もろい、そしてどんな不利な立場、不成績で終っても、いつまでもよくよくせず常に明るく前向きな姿勢を貫き通すと云う単純でオッチョコチョイな人間です。

私が本格的に陸上競技と取り組んだのは昭和25年、当時浜松南部中学2年生の時でした。今はもう教育界から引退された鈴木与三郎、外波山義人両先生に巡り逢って練習は厳しく情熱ある指導を受けました。浜商の大先輩である岡村隆、松田恒さんが南中の先輩で私の中2の時は雲の上の人でした。しかし私は今は駄目でもいつかは両先輩以上の記録を出し好成績を上げて日本一になってやるんだ……と心に誓った事を憶えております。

運よく中3の秋に市内中学校大会があり、新種目として棒高跳が出来、誰もやる人がいなかったの私におはちが回って来ました。当時私は巾、三段の選手、市内で3、4番位の成績、あまりバツとしない選手で、ボールの新種目をやれば皆一斉にスタートするわけだから一位になれるのではないかと云う軽い気持ちでした。まず最初に教えて戴いたのが棒をもつて走る事、棒をボックスに突込む動作の二点のみで、早くバーを掛けて跳びたいの一心でしたが、明けても暮れても走る事と突込みだけでした。今考えて見れば基本、基礎とは単純な動作を何回も繰り返す事により出来るもので、それをやる事によって技術の向上はもちろん、辛抱と頑張り其自然と出来上って行くのではないかと思います。若い人達に反発するようですが、今の世代の人達は早く結果が欲しいと云う事でしょうか、単純なつまらない基本基礎をないがしろにしている傾向が強いように思われてなりません。

浜商入学時には沢山の新人部員が入って来ました。私の

記録等は大したものではなく、ごく平凡な記録で平凡な選手でしたが、松島正吉先生を知り、先輩の指導を受け、高校3年時には熊本のインターハイでは棒高跳に優勝する事が出来ました。振り返って見れば、毎日の練習と私生活、授業中に握力の訓練(軟式テニスボールを常に握っていた)苦しい練習時の思い出ばかりです。人と同じ事をやっても上にはいけない、人が休んでいる時に自分の練習をするかが自分のモットーでありました。大学進学後も毎晩腕立て伏せ、腹筋背筋の強化、モモの引付等、試合の前後は控えましたが丸4年間これも実行し、大学3年時ついに100m10秒台で走る事が出来ました。努力すれば必ず好結果が出て来ます。それが1ヶ月であるか1年であるか3年であるかわかりません。私は中3の時100M13秒2でした。ごく普通の少年が毎日のコツコツと努力したものが6年かかって棒高跳をやりながら10秒台で走れるようになったのです。現在50才になりましたが、若い時に陸上競技をやっていたと云えば私の身体を親てやはり若い時に運動をやっていただけの事はありますねと人にごく自然に云われますが、これは若い時に如何に運動に必要な基礎体力造りをやっていた時の貯金が残っているかの証明であると思います。今の若い人達は運動をやめて3年もすれば運動を何もやっていなかった人達と同じ体型になってしまうような気がします。目先の好結果だけにとられずオレは、私は、これだけやったんだと云えるような事をして戴きたいと思うし、常に行動を起こす事だと思います。宝クジも当り番号を見ているだけでは当りません。買わなければ当たらないのです。当たると思えば買い続けることです。

昭和39年の東京オリンピック出場を最後として私の陸上競技生活はピリオドを打ちましたが、その翌年プロ野球読売巨人軍へプロ野球初のトレーニングコーチに就任出来たのも陸上競技をやっていた(東京オリンピックは十種競技で出場)からだと思う、プロの厳しい中であつて15年間もやっておれたのも浜商魂が植いつけられていたからこそだと思います。浜商陸上部応援歌「怒濤さかまく」の中にある浜商魂とは、私自身の解釈では、逆境に強く、上司の信頼は厚く、後輩の面倒見がよく、ここ一発の強さのある根性を持っている事だと思っております。今何人の人が浜商魂を持っているのでしょうか?これからの世相は益々厳しく、方向性もままならず、悲観的な材料ばかりが目につきますが、「我心ヶ丘」で学んだこと、陸上部で教えられた事を行動に託し「若松我等」の先・後輩の協力を得て浜商陸上競技部出身を誇りに思い、浜商陸上部出身の人達は他の人と一味違うなと云われるようになりたいと思っております。

最後に私と陸上競技を通じて云える言葉は「過去は過ぎたり、未来きたらず、今を生きて」を教えられました。

 編集部より

人の気持と世の中は全く分からない。伝統は短時間で作れるものではない。浜商陸上部の発展の為には我々は一丸となって進まなければいけない。それには良き理解者でなくては行けない。会員諸兄の心遣いが今一つ盛り上らない実情を考える時、情ない気がする。一人一人が、あの松島、岡村、山下、諸先生の私利私欲を捨てた指導をされた情熱を思い出して、何卒陸上部発展にご尽力を賜りたい。

(編集室 長屋)

各種自動機・省力化装置・治具・部品加工・組立
機械配管・制御盤・配電盤・シーケンサー盤

MASSEY 株式会社 **マツシイ**
山内良夫(第6回卒)

本社・経理 〒203 東京都米子金山町2-11-16 TEL0424-73-2534
工場・営業 〒352 埼玉県新座市本多1-13-12 TEL0484-78-0145
FAX0484-78-1739

太田のマヨネーズ製造販売
総合食料品販売

(株) 太田油脂

将監町22-3 TEL63-0631(代表)